



2019年7月吉日

ー近藤 達也先生が DIA フェローに選ばれましたー

DIA では、2012 年より DIA フェロープログラムを開始し、DIA メンバーとして長年にわたる積極的な活動を通して、DIA Mission の遂行に大きく貢献してこられた方をフェローに迎えています。このたび、日本から近藤 達也先生（理事長、一般社団法人 Medical Excellence Japan）が新しいフェローに選ばれ、本年 6 月に San Diego で開催された DIA 2019 Global Annual Meeting においてフェロー称号を受けられましたので、皆様にご報告申し上げます。現在のフェローは以下の方々と、フェローに選ばれることは、非常に名誉あることです。

Martin Harvey Allchurch
Minnie Baylor-Henry
Gerald J. Dal Pan
Gaby L. Danan
Richard O. Day
Marie Dray
Nancy Dreyer
Ron D. Fitzmartin

E. Stewart Geary
Alberto Grignolo
Yves Juillet
Tatsuo Kurokawa
Tatsuya Kondo
Sandra L. Kweder
Birka Lehmann
Murray M. Lumpkin

Sandra A. Milligan
Noriaki Murao
Jennifer L. Riggins
John A. (Jay) Roberts
Jeffrey W. Sherman
Per Spindler
Ling Su

近藤先生は、1968 年に東京大学医学部を卒業後、脳神経外科医として国立東京第一病院、東京大学病院に勤務し、1977 年に生物学研究のためにドイツのマックスプランク研究所でフェローシップを得ました。国立国際医療センターに勤務されていた 1987 年に北京の中日友好病院に滞在し、JICA プロジェクトの下で脳神経外科を設立、2003 年には国立国際医療センター病院長に就任されました。そして 2008～2018 年、PMDA 理事長を務め、健康被害救済、医薬品の承認審査、市販後の安全性を含むすべての業務を指揮しました。また、国際的な薬制当局の連合である ICMRA の主要なメンバーでした。PMDA では、1987 年に内山充博士が創始した「科学技術を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づいた確かな予測・評価・判断を行い、科学技術の成果を人と社会との調和の上でもっとも望ましい姿に調整する」ための科学、レギュラトリーサイエンスを推進されてきました。DIA においては、PMDA の理事長に就任された時と同じ 2008 年、44th DIA Annual Meeting に参加されて以来 12 年の長きにわたり、毎年日米欧の DIA 会合において多くの講演をされ、多大なる貢献とサポートを頂いています。

近藤先生が、このような榮譽を受けられることは大変喜ばしく、心よりお祝いを申し上げます。

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン
代表理事 植村 昭夫